



内部質保証への効果的な学生参画と 大学マネジメント

発表概要

内部質保証への学生参画と大学マネジメント：

- どういうものか？
- なぜ重要なのか？
- 学生はどの領域に関与しなければならないか？
- それを機能させるには？



学生参画とは何を意味するのか？

1. 学生参画の話をする事は、学生が自分の教育経験の積極的な参加者および管理者であることを認識することである。参画(Engagement)は、下記に示した関連する用語より高いレベルの意味、すなわち、責任、権限付与、および学生に与えられたコントロールを表すので、*相談(Consultation)*、*関与 (involvement)*および*参加(participation)*のような他の関連語と区別することができる。

2. 「学生は自身の学習と成果の共同責任を持つ意欲的なパートナーである。高等教育の定義する特徴の一つは、この意欲的な参加に頼る範囲、学生の所有権、学習プロセスである」 (QAA Scotland, 2008).

3. 学生参画は、二つの独立しているが、関連する状況にある：機関マネジメントと質保証内の学生参加及び個々の学習経験を伴った学生参画



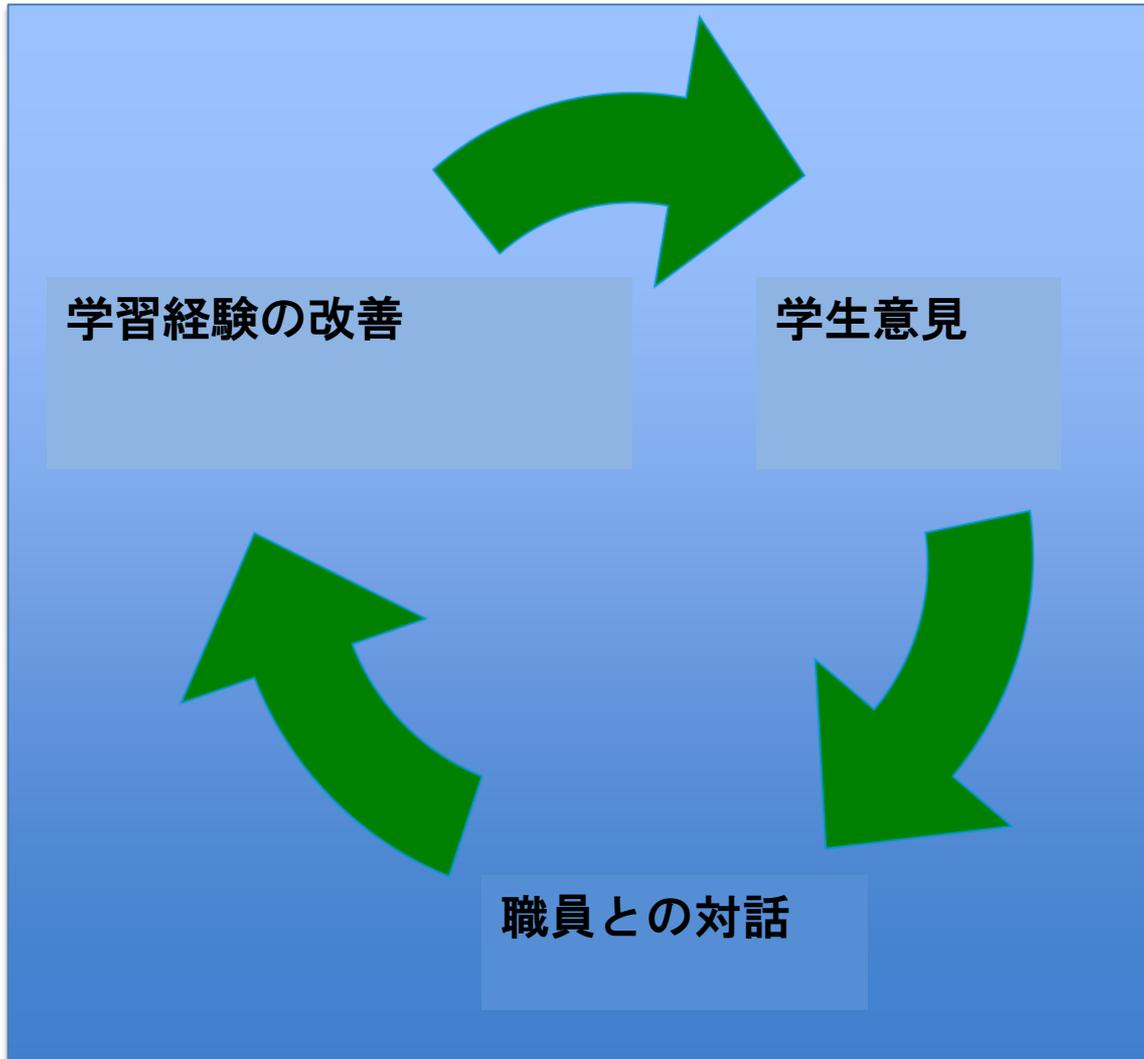
内部質保証と大学マネジメントへの効果的な学生参画の利点は何か？

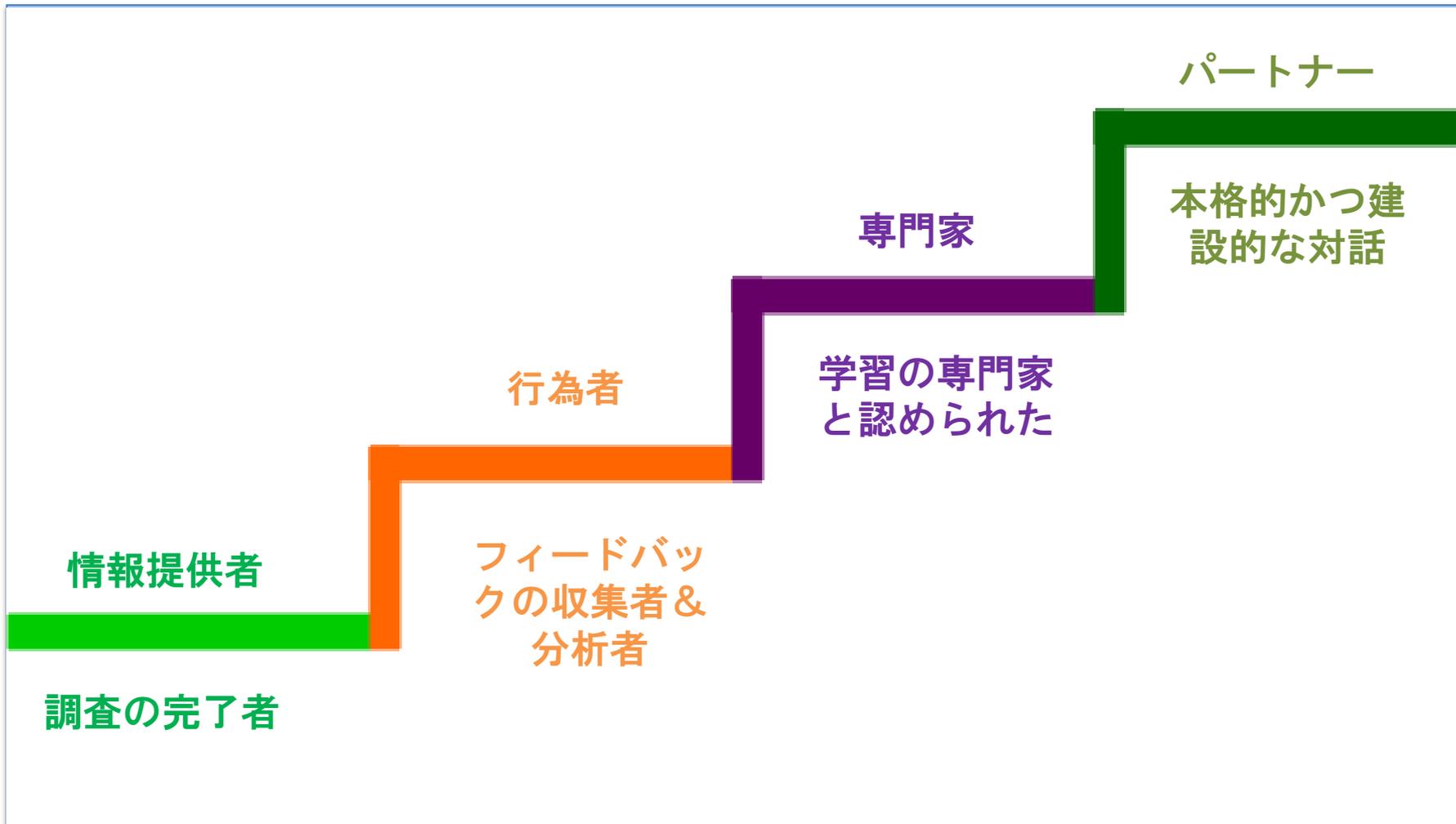
「大学は、職員と学生との協力を通して学習目標を達成するコミュニティである。学生や機関の職員の間で誓約された協力は、本格的かつ建設的な対話の可能性を切り拓き、より包括的で学習活動からのフィードバックを反映し、その質的向上のための機会を提供する。」 (Cross Sector group on student engagement England & Northern Ireland).



フィードバック サイクル

質改善を中心にした職員
と学生間の対話





学生が関与する様々な方法



学生参画の成果及びプロセス

- 参画の成果は、学生から継続的に有益なフィードバックとアイデアが来ることであり、教育の質の向上という目的の達成のために、職員がそれらから学び、応じ、活用することで、彼らを奨励することができる。
- 参画のプロセスは、学生の内的側面を成長させる行為であり、それは彼らの能力を向上させ（例えば、分析、交渉、調査、発表スキル）、よりすぐれた学習者、よりすぐれた個人及びよりすぐれた市民を作ることである。

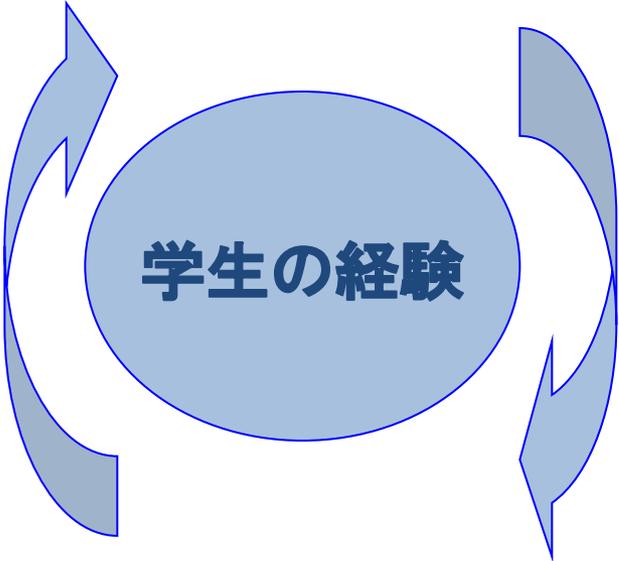


1. カリキュラム

2. 学習手段と
その配置

3. 教育

4. 評価と達成



6. 質と水準

5. 学生の進行と
成果



実際に効果的な学生参画を機能させるには？

1. 学習に対して、より積極的に、より関心を持ち、より責任を負うように学生を支援し、奨励する
2. 学生と職員間の相互理解を奨励する
3. 教育プロセス及び改善方法の強みと弱みを特定するのに役立つような、フィードバックや視点及び見識を得るために学生と共同関係を築く
4. カリキュラム、教育、及び学生経験の全ての側面について意思決定に学生を巻き込む
5. 大学内及び大学間で学生参画のグッド・プラクティスの例を交換する



学生参画への課題

学生の視点から：

- 学生は学生参画が彼らにとって何を意味するか、またそれが学習経験全般をどう改善することに寄与するのか十分に認識する必要がある
- 学生参画を効果的なものにするには、職員がどのように効果的に学生を励まし、情報を共有してゆくかに大きく依存する
- 学生が効果的に参画できるような適切な条件（方針、プロセス、募集、人間関係）
- 多くの場合、学生が適切に発言できるようになるためには、学習についてよく咀嚼し、理解できるような機会と支援が必要になる



学生参画への課題

職員の視点から：

- 学生参画は多様な意味を持ち、人々が置かれている状況によってその捉え方は異なる。したがって、学生参画はすべての者が同じ成果を求めるものではない。
- 学生のどのレベル（個人か、もしくは代表か）の参加を得られるのか、またその獲得方法については不確実性を伴う。
- 学生との関係構築をいかにうまくできたのか、また失敗したのかという過去の経験が、職員が学生参画をいかにとらえるのかに影響を及ぼす。



学生参画の改善: 考慮すべき更なる問題

- 個人及び代表の参画に適したふさわしい状況か？ - 方針、手順、機会
- この参画の機会は、異なるタイプの学生にも利用可能か？
- 効果的に参画するために必要な正しい情報や知識を学生が持っているか
- 参画のタイミングは適切か？
- 学生は、自らがアクティブな学習者として、あるいは共に学習環境を作り上げる共同者として成長するために、学生参画の経験を十分にいかしているか？





内部質保証への効果的な学生参画と大学マネジメント